



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東  
 コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 丸山 與一 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	508	△13.9	△89	—	△89	—	△90	—
28年9月期第1四半期	590	5.9	△30	—	△30	—	△31	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 △85百万円( —%) 28年9月期第1四半期 △33百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	△12.64	—
28年9月期第1四半期	△4.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	2,075	1,670	80.4
28年9月期	2,199	1,755	79.8

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 1,669百万円 28年9月期 1,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	10.2	50	318.6	52	253.9	42	495.1	5.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期1Q	7,444,800株	28年9月期	7,444,800株
29年9月期1Q	259,200株	28年9月期	259,200株
29年9月期1Q	7,185,600株	28年9月期1Q	7,185,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」、健康食品や化粧品等の開発及び販売を中心とする「ヘルスケア事業」及び自己資金を運用する「自己資金運用事業」の4つです。

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	平成28年9月期 (前第1四半期)		平成29年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	590	100.0	508	100.0	86.1
金融ソリューション事業	478	80.9	381	75.0	79.8
ビジネスソリューション事業	43	7.3	41	8.2	95.9
ヘルスケア事業	69	11.8	85	16.7	122.8
自己資金運用事業	—	—	0	0.1	—
営業損失(△)	△30	—	△89	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△31	—	△90	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当社グループの連結売上高の7割以上は金融ソリューション事業の売上高であり、その中でも証券会社等のディーリング（自己資金運用）業務を行う法人への売上高は、連結売上高の約3分の2を占めます。

当第1四半期において、国内では雇用環境面で改善の動きも見られるなど、経済に回復の兆しがみえてきましたが、一方で国外では新興国経済の減速、EU諸国の不安定さ、米国新政権の不確実性等により、株式や為替への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下で、当第1四半期の業績はヘルスケア事業において増収となったものの、金融ソリューション事業及びビジネスソリューション事業の減収を補うには至らず、連結売上高は前年同期に比べて82百万円減少の508百万円となりました。また利益面においても費用削減等の施策を行いました。売上高減少の影響により営業損失、親会社株主に帰属する四半期純損失ともに前年同期から悪化し、それぞれ89百万円、90百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 381百万円（前年同期比 79.8%）

セグメント利益 80百万円（前年同期比 64.1%）

## &lt;製品区分別&gt;

	平成28年9月期 (前第1四半期)		平成29年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	332	69.6	263	69.0	79.0
取引所端末	63	13.2	70	18.4	111.2
外国為替証拠金システム	31	6.6	26	6.8	83.3
取引所関連システム	43	9.0	13	3.6	31.6
その他	7	1.6	8	2.2	110.5
合計	478	100.0	381	100.0	79.8

## &lt;売上区分別&gt;

	平成28年9月期 (前第1四半期)		平成29年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	18	3.8	0	0.1	1.6
システムインテグレーション売上	19	4.2	7	2.1	39.8
ライセンスビジネス売上	292	61.3	278	73.0	95.0
カスタマーサポート売上	146	30.7	94	24.8	64.6
合 計	478	100.0	381	100.0	79.8

当第1四半期においては、製品区分別で前年同期に比べて取引所端末の売上増加があったものの、全体では20.2%の売上高が減少する結果となりました。取引額が大きい顧客の解約の影響によるものです。

一方で、費用削減に関する施策を行いました。売上高の減少分を補うには至りませんでした。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 41百万円 (前年同期比 95.9%)  
セグメント損失 16百万円 (前年同期は19百万円のセグメント損失)

引き続き、自社開発の経営統合管理プラットフォーム「GroupMAN@IT e<sup>2</sup>」の販売に注力し、営業活動を展開しております。売上高は前年同期とほぼ同水準で推移し、利益面も若干改善しました。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は、当社、株式会社らぼおぐ及び株式会社健康プラザパルの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 85百万円 (前年同期比 122.8%)  
セグメント損失 66百万円 (前年同期は55百万円のセグメント損失)

自社ブランド品の重点的な販売や、前年度から開始した原料販売及びOEM、売れ筋商品の迅速な投入等の様々な施策を行い、前年同期に比べて売上高が22.8%増加しました。

費用面においては、学校法人東京女子医科大学及び国立研究開発法人産業技術総合研究所との産学官共同研究に伴う研究開発費が前年同期より増加した結果、セグメント損失が若干悪化しました。

## (自己資金運用事業)

自己資金運用事業は、株式会社トレーデックスの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 0百万円  
セグメント損失 10百万円 (前年同期は0百万円のセグメント損失)

投資教育事業として、個人投資家向け投資セミナーの開催やTokyoMXで「TRADEX マーケット・アングル」の番組提供を行っています。当第1四半期は、10百万円のセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し、2,075百万円となりました。自己資本比率は80.4%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は407.8%であり、安定性の高い財務体質となっています。

（資産）

総資産合計2,075百万円のうち、現金及び預金が1,226百万円（構成比59.1%）を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金199百万円（構成比9.6%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）179百万円（構成比8.7%）、投資有価証券165百万円（構成比8.0%）となっています。

（負債）

負債合計405百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が233百万円（負債及び純資産に対する構成比11.2%）を占めています。

（純資産）

純資産合計1,670百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△533百万円、自己株式△95百万円等となっています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では平成28年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,230,551	1,226,535
受取手形及び売掛金	271,072	199,991
有価証券	100,783	—
商品及び製品	80,104	77,909
仕掛品	69,060	88,348
原材料及び貯蔵品	13,278	13,414
繰延税金資産	6,400	6,400
その他	84,323	123,362
貸倒引当金	△11,932	△11,994
流動資産合計	1,843,643	1,723,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,190	17,322
工具、器具及び備品(純額)	31,359	28,397
有形固定資産合計	49,549	45,719
無形固定資産		
のれん	4,591	3,443
ソフトウェア	13,967	12,351
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	19,807	17,043
投資その他の資産		
投資有価証券	160,945	165,945
その他	125,309	123,181
投資その他の資産合計	286,254	289,126
固定資産合計	355,611	351,889
資産合計	2,199,254	2,075,856



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,692	89,667
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	80,736	80,836
リース債務	1,862	1,713
未払法人税等	16,264	3,917
その他	89,686	73,680
流動負債合計	371,241	349,815
固定負債		
長期借入金	68,993	52,489
リース債務	1,048	711
退職給付に係る負債	2,062	2,750
固定負債合計	72,103	55,950
負債合計	443,345	405,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△442,345	△533,137
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,735,321	1,644,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,300	25,300
その他の包括利益累計額合計	20,300	25,300
新株予約権	287	262
純資産合計	1,755,909	1,670,090
負債純資産合計	2,199,254	2,075,856

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	590,965	508,856
売上原価	384,503	370,511
売上総利益	206,461	138,344
販売費及び一般管理費	237,296	227,508
営業損失(△)	△30,834	△89,163
営業外収益		
受取利息	227	7
受取配当金	1,213	526
その他	134	115
営業外収益合計	1,574	649
営業外費用		
支払利息	1,435	838
その他	50	5
営業外費用合計	1,486	844
経常損失(△)	△30,745	△89,357
特別利益		
新株予約権戻入益	—	25
特別利益合計	—	25
特別損失		
固定資産除売却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△30,762	△89,332
法人税、住民税及び事業税	951	1,460
法人税等合計	951	1,460
四半期純損失(△)	△31,714	△90,792
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,714	△90,792

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△31,714	△90,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,500	5,000
その他の包括利益合計	△1,500	5,000
四半期包括利益	△33,214	△85,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,214	△85,792
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業	自己資金運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	478,165	43,332	69,467	—	590,965	—	590,965
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	750	18	—	768	△768	—
計	478,165	44,082	69,485	—	591,733	△768	590,965
セグメント利益又は損失 (△)	125,363	△19,791	△55,024	△287	50,260	△81,094	△30,834

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△81,094千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業	自己資金運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	381,535	41,573	85,322	424	508,856	—	508,856
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	750	91	—	841	△841	—
計	381,535	42,323	85,413	424	509,697	△841	508,856
セグメント利益又は損失 (△)	80,410	△16,639	△66,163	△10,498	△12,891	△76,272	△89,163

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,272千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。